

令和7年6月27日

保護者様

豊田市立逢妻中学校
校長 吉野 薫

百日咳について（お知らせ）

日頃から皆様におかれましては、学校の感染症対策に御協力いただき誠にありがとうございます。

さて、令和7年6月12日に愛知県内で百日咳が流行しているという報道発表がありました。

百日咳は、百日咳菌の飛沫感染や接触感染により起こる急性の気道感染症で、感染力が強力で、乳児が感染すると重症になる可能性があります。

お子さんに長引く咳があった場合には、無理に登校せず、医療機関を受診することを御検討ください。

学校では感染拡大を防止するため、以下の感染対策を行っています。

今後も、お子様の安心・安全な教育環境の確保のため、引き続き御家庭の御理解と御協力をお願ひいたします。

記

1. 百日咳とは

百日咳は、百日咳菌の飛沫感染、接触感染により起こる急性の気道感染症です。

【症状】

通常は、感染後5～10日間の潜伏期間を経て、普通のかぜのような症状で始まり、次第に咳がひどくなり、顔を真っ赤にしてコンコンと激しく咳込み、最後にヒューと笛のような音を立てて大きく息を吸う発作をおこします。

【予防策】

一般的な感染対策は、以下のとおりです。

- ① 咳エチケットの励行、外出時等には手洗いうがいをする
- ② 長引く咳がある場合は、医療機関へ受診をする
- ③ 予防接種の実施（生後2か月から7歳6か月末満の児が定期接種の対象期間）

2. 学校における感染対策について

- ・お子さんの健康状態の把握
- ・接触感染を避けるための手洗い等の衛生指導の実施
- ・適切な換気の実施

※学校内で百日咳の増加傾向がみられた場合、一時的にマスクの着用について配慮をお願いすることがあります。その場合でも、熱中症リスクが高い時には、お子様の様子を観察し、呼吸が苦しい等体調の異変を確認した時には、必要に応じてマスクを外すよう対応します。

※感染後、登校される前にお子さんの体調や主治医からの指示事項を確認させていただきます。場合によっては登校を控えていただき、自宅での休養を継続していただくようお願いする場合があります。

担当 教頭 廣田 剛
電話 0565-33-7881